



有信学長から学位記を受け取る卒業生代表の三谷さん（撮影・宮原滋）

## 叡啓大初の巣立ち 58人が卒業式

広島県立の<sup>えいけい</sup>叡啓大（広島市中区）の初の卒業式が24日、中区のホテルであった。社会課題の解決方法を探る授業や、多くの留学生の受け入れを目指す2021年に開学した大学を58人が巣立った。

有信睦弘学長は「歴史も伝統もない大学の掲げている人材育成理念に共感して入学し、大学の歴史をつくり上げてきた」とたたえた。その上で「さまざまな国から来た留

学生と切磋琢磨する中で養われた共感性は大きな財産」とエールを送った。

卒業生を代表して三谷日菜子さん(23)は「当初はただ世界の諸問題を憂うことしかできなかったが、干渉することができる知識と力を学び得た」と英語を交えて語った。

卒業生58人のうち、47人が就職。ワーキングホリデーを目指したり、起業したりする人もいる。（治徳貴子）